

NEC R&D説明会 用語解説（プレゼン資料記載順）

ページ23

CSCF: Call Session Control Functions の略

セッションの確立と管理、及び IMS ネットワーク間でのメッセージのやりとりをサポートする SIP(Session Initiation Protocol)サーバー。

HSS: Home Subscriber Server の略

サービス加入者管理のためのサーバー。

IMS: IP Multimedia Subsystem の略

固定網や移動体通信、放送などで提供されているサービスをIP技術で融合し、新たなマルチメディアサービスを実現するための仕様。主な例として、携帯電話をトランシーバのように同時に複数の人と音声通話ができるプッシュtoトークや、利用者がいる場所や現在の状況に応じたサービスを提供するプレゼンス機能などのほか、スケジューラやクレジットカード決済などのデータベース機能やセキュリティ機能が統合されたサービスが挙げられる。現在、日本だけでなく、欧州などの主要な移動体通信サービス事業者がIMS基盤のフィールド評価に取り組んでいる。

IM: Instant Messaging の略

ネットワーク上で簡単なメッセージやファイルを送受信すること。同じソフトを利用している相手とオンラインの場合にチャットやファイル転送を行うことができる。

OMA: Open Mobile Alliance の略

モバイル Web サービスアプリケーション用の標準規格作成のための活動を推進するために設立された業界団体。世界各国のモバイル通信関連企業が200社以上集まっており、NECは、24社のスポンサー企業の1社として積極的に活動している。

PoC: Push-to-Talk-over-Cellular の略

トランシーバのような無線機の通話方法を指し、話者がボタンを押すことで音声を

交互にやり取りする通話機能。これを携帯電話で実現するのが「Push-to-Talk over Cellular」と呼ぶ技術で、頭文字をとって「PoC(ポック)」と略することが多い。複数の相手に対して同時に音声を伝えることができる。

国内では、NTTドコモが2005年11月から「プッシュトーク」の名称でサービスを開始した。NECは「プッシュトーク」のサービスプラットフォーム構築に参画した。

ページ27

DWDM: Dense Wavelength Division Multiplexing の略

光ファイバーを使った通信技術の一つで、高密度波長分割多重方式と呼ぶ。波長の違う複数の光信号を同時に利用することで、光ファイバーを多重利用する方式。同様の技術であるWDMをより高密度化したもの。波長の異なる光ビームは互いに干渉しないという性質を利用している。この技術により、光ファイバー上の情報伝送量を飛躍的に増大させることができる。

EDC: Electronic Dispersion Compensator の略

電気回路による波形歪みの補償回路。

FEC: Forward Error Correction の略

前方誤り訂正制御方式のこと。ロス packets を補完するための誤り訂正符号 packets を生成・送信し受信側で再構成することにより、高信頼なデータ転送をする技術。

GMPLS: Generalized Multi-Protocol Label Switching の略

光ネットワーク上でデータを送信する際に、最適な経路を選択して通信するための技術。GMPLSは、次世代フォトニックネットワークを制御するプロトコルとして注目されている。このプロトコル群は、IETF(The Internet Engineering Task Force)などを中心として、標準化が進められており、GMPLS のシグナリングプロトコルの基本機能は、2003年2月に正式な標準仕様案(Proposed Standard)RFC3471~3473として認定されている。IETFは、インターネットを構築・運営するために標準化された様々な規格や実現手法の文書を発行する組織。

ROADM: Reconfigurable Optical Add/Drop Multiplexer の略

遠隔波長制御可能な波長多重化装置。

NECでは、NGN対応製品として、伝送速度40Gbps、最大多重波長数80波を実現

したROADM「SpectralWave DW4200 シリーズ」を開発し、販売活動を展開している。

ページ28

OADM: Optical Add/Drop Multiplexer の略

光ファイバーを 分岐多重化する装置。

AWG: Arrayed Waveguide Grating; の略

WDM 通信に用いられる波長合分波器。平面光導波路回路(PLC: Planer Lightwave Circuit)と呼ばれる石英ガラス光導波路により、回折格子を形成したもの。

※資料に掲載されている各社の製品・サービスなどは、各社の商標または登録商標。